

# 水素社会モデル構築高度化技術開発・実証事業

NEDO担当部 : 水素・アンモニア部  
経済産業省担当課 : 資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部水素・アンモニア課

## 概要

### (1) 事業目的

「水素社会」実現のため、一定の地域での水素サプライチェーンを構築する、利活用モデルや事業化モデル等のモデル構築を目指す。

モデル構築に当たっては、事業成立性やその地域に普及すること、また、他地域への横展開を含む水素需要の創出、新たな地域産業創出などにつながることを重視し、水素関連分野の事業化の確度を高める技術開発と水素の製造及び貯蔵・輸送・利用までを含めた実証を組み合わせ、モデル確立についての調査、必要な技術開発・実証を支援する。

### (2) 事業内容

「水素社会」実現のため、地域での水素サプライチェーンを構築する、利活用モデルや事業化モデル等のモデル構築に必要な調査及び技術開発を行う。

研究開発項目Ⅰ : 「水素製造・利活用ポテンシャル調査研究」  
(補助事業 [補助率 2/3 以内])

一定地域でのサプライチェーンのモデルについて、将来の事業性、経済性等の検証や、機器開発等につながる定量的なデータ取得などの調査・研究を行う。

研究開発項目Ⅱ : 「水素社会モデル高度化技術開発」  
(補助事業 [補助率 2/3以内、1/2以内])

社会実装に近いレベルで、事業成立性を確保できる一定地域でのサプライチェーンのモデル構築に向けた技術開発・実証を行う。

### (3) 事業形態

事業期間 : 2026～2030年度  
予算額 : 39.5億円 (2026年度) 【需給】  
支援形態 : 1/2又は2/3 補助  
NEDO根拠法 : 第15条第3号及び第9号

## 政策・他事業との関連

- 水素基本戦略 (2023年6月改定)
  - 脱炭素成長型経済構造への円滑な移行のための低炭素水素等の供給及び利用の促進に関する法律 (令和6年法律第37号) (2024年10月施行)
  - エネルギー基本計画 (2025年2月)
- NEDO事業—
- 「競争的な水素サプライチェーン構築に向けた技術開発事業」
  - 「水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業」

## 達成目標

### (1) アウトプット目標 (2030年度)

将来の自立した水素社会実現のため、地域水素サプライチェーン構築に向けた、技術開発及び実証を通じてモデルを構築する。そのため以下を目標に実施する。  
そのほか必要となる定量的かつ具体的な目標は、テーマごとに設定する。  
実証事業実施件数 中間評価 (2028年度) : 7件 (累計)  
終了時評価 (2030年度) : 13件 (累計)

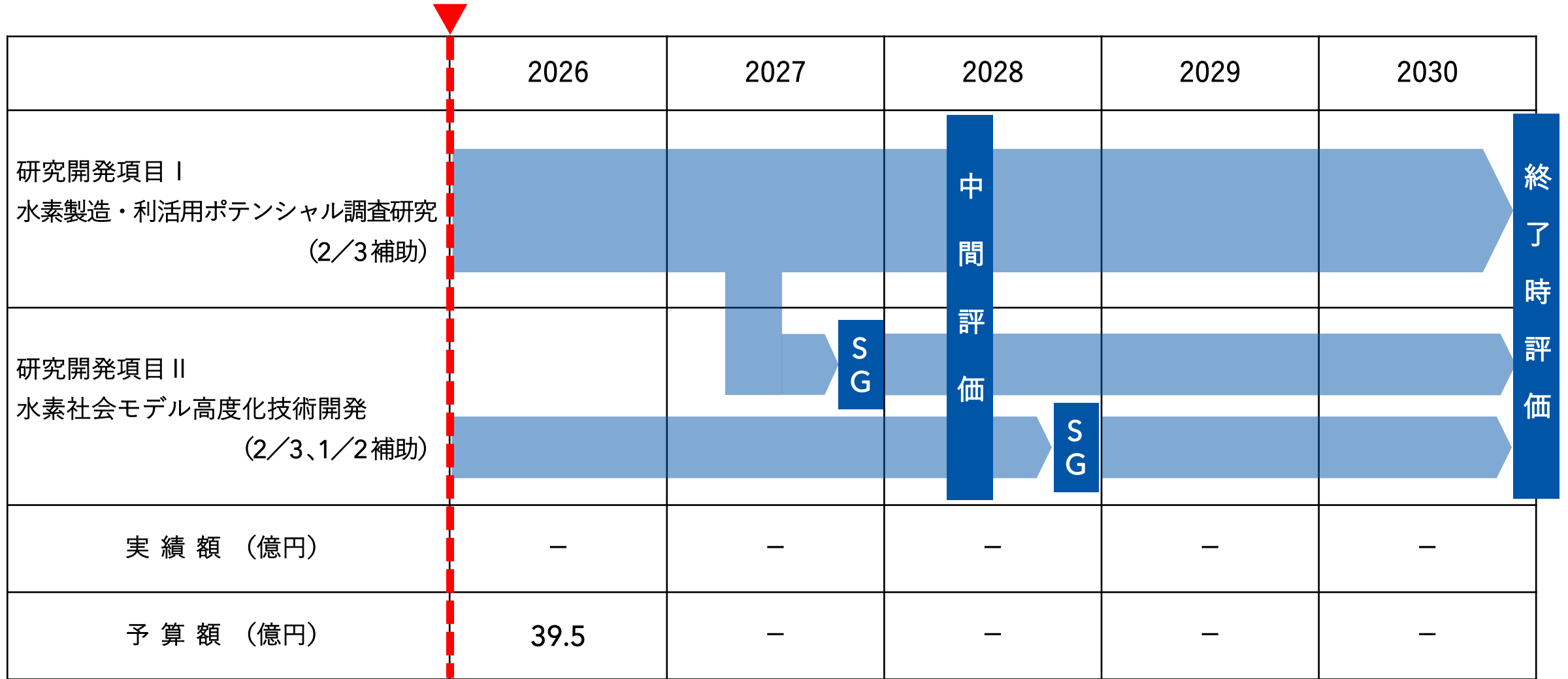
### (2) アウトカム目標

本事業の取組により、実施した技術開発・実証が社会実装され、2035年頃までに地域水素サプライチェーンを構築し、地域での水素社会を実現する。

### (アウトカム目標達成に向けての取組)

本事業における各テーマの取組や成果を積極的に広報し、実効的なコミュニティの創出を促すなどし、各テーマの点での取組が面的に広がるように努める。

# スケジュール



SG：ステージゲート